

2016 年度立命館大学校友会 東日本大震災復興支援事業

— 東北応援ツアーレポート —

「現地を訪問して想うこと」

参加者氏名： 笈川 立

卒業年： 1995 年

卒業学部： 経済学部

-----以下レポート用紙-----

東日本大震災復興支援事業応援ツアー。いままで卒業した大学の校友会なんて関わったことなかったのですが、定期的に送られてくる会報の挟み込みチラシを見て応募してみました。今年で 3 回目の催行、沿岸部へ向かう車中でお話を伺うと、抽選により希望に叶わない場合もあるようで、初めての応募で希望コースに参加できたことはラッキーだったようです。東日本大震災以降、復興に積極参加したこともなく、比較的近い場所に住んでいても、東北地方に足を踏み入れることさえなかったので大変おおきな体験となりました。

今回の見聞は今更ながら衝撃的でした。特に福島第一原発周辺の、未だに人が住んでいない街、生活感がない街は忘れられません。福島に住むマスメディアや復興に直接関与されている校友から、体験談やメディアを通じてのレポートがあり、訪問各地ではそれぞれの現状や課題に関する講義があったことも、一般的な観光旅行では決して学ぶことができないものでした。映画「フラガール」で有名になったハワイアンズや周辺のシンボリックな施設が復活してきていること、少しずつではあるものの、地元で創意工夫をされて産業が復興していることは頼もしい限りですが、交通機関が戻りつつあるとはいえ、発電所周围の町は物理的に、心理的にもとに戻すことができない現実が突きつけられているようです。

東日本大震災以降、日本では多くの自然災害に見舞われていますが、少なくとも福島の浜通りの一部は、復興のスタートラインにも、まだ達していないと感じました。ツアーの途中、3.11 当日は、横浜のオフィスで大きく揺れる中、非常口のドアを押さえていたことを思い出しました。その後の計画停電で首都圏の交通機関が麻痺し、しばらくの間、自転車で通勤したことや、休日にはたくさんの笑顔があふれかえる「みなとみらい」から人々がいなくなったこと、それから 5 年、首都圏では東京オリンピックに向けて東日本大震災が過去のことに思える錯覚の中にいるのかもしれません。

今回参加された交友は世代は様々ですが中学から大学まで、教壇に立たれている方、研究者の方が多かったようでした。私たち校友が今回のような機会を活かし、5 年前の被災地の現実を、実際の見聞を交えて、次の世代へも正確な伝達をしていけることを願ってやみません。

*** 正文は添付の pdf ファイルをご参照ください ***



TRACES OF THE GREAT EAST JAPAN EARTHQUAKE

Tatsuru OIKAWA on facebook, November 2016 **SPECIAL ISSUE**



東日本大震災復興支援事業応援ツアー。いままで卒業した大学の校友会なんて関わったことなかったのですが、定期的に送られてくる会報の挟み込みチラシを見て応募してみました。今年で3回目の催行、沿岸部へ向かう車中でお話を伺うと、抽選により希望に叶わない場合もあるようで、初めての応募で希望コースに参加できたことはラッキーだったようです。東日本大震災以降、復興に積極参加したこともなく、比較的近い場所に住んでいても、東北地方に足を踏み入れることさえなかったので大変おおきな体験となりました。

今回の見聞は今更ながら衝撃的でした。特に福島第一原発周辺の、未だに人が住んでいない街、生活感がない街は忘れられません。福島に住むマスメディアや復興に直接関与されている校友から、体験談やメディアを通じてのレポートがあり、訪問各地ではそれぞれの現状や課題に関する講義があったことも、一般的な観光旅行では決して学ぶことができないものでした。映画「フラガール」で有名になったハワイアンズや周辺のシンボリックな施設が復活してきていること、少しずつではあるものの、地元で創意工夫をされて産業が復興していることは頼もしい限りですが、交通機関が戻りつつあるとはいえ、発電所周圍の町は物理的に、心理的にもとに戻すことができない現実が突きつけられているようです。

東日本大震災以降、日本では多くの自然災害に見舞われていますが、少なくとも福島の浜通りの一部は、復興のスタートラインにも、まだ達していないと感じました。ツアーの途中、3.11当日は、横浜のオフィスで大きく揺れる中、非常口のドアを押さえていたことを思い出しました。その後の計画停電で首都圏の交通機関が麻痺し、しばらくの間、自転車で通勤したことや、休日にはたくさんの笑顔があふれかえる「みなとみらい」から人々がいなくなったこと、それから5年、首都圏では東京オリンピックに向けて東日本大震災が過去のことに思える錯覚の中にいるのかもしれません。

今回参加された交友は世代は様々ですが中学から大学まで、教壇に立たれている方、研究者の方が多かったようでした。私たち校友が今回のような機会を活かし、5年前の被災地の現実を、実際の見聞を交えて、次の世代へも正確な伝達をしていけることを願ってやみません。



TRACES OF THE GREAT EAST JAPAN EARTHQUAKE

Tatsuru OIKAWA on facebook, November 2016 **SPECIAL ISSUE**

本レポートについて

このレポート内容は、2016年11月12日～13日、『2016年度立命館大学校友会・東日本大震災復興支援事業応援ツアー』に参加する行程中に、自分のfacebook上にアップロードし、関連者に公開したアルバム内容を、再編集したものです。なお、個人facebookアカウントのため、公開をしておりません。あらかじめご了承ください。



1日目 郡山駅→浪江町→Jヴィレッジ→ハワイアンズ



中通りから浜通りへ



すてきな福島地方のお国言葉を操る、福島観光のバスガイドさんのお話に引き込まれつつ、福島県最大の町、郡山を後にし、一路「浜通り」に向かいます。旅のはじまりはバス車中の昼食から。「ふくしま」の食の幸が詰まったおいしいお弁当です！ 天気は晴れ、紅葉に彩られた高速道路は快適そのものでした。





TRACES OF THE GREAT EAST JAPAN EARTHQUAKE

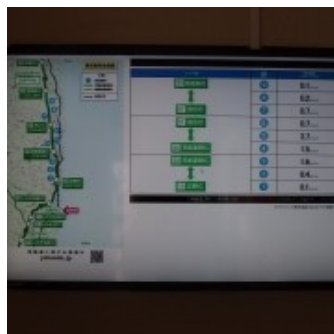
Tatsuru OIKAWA on facebook, November 2016 **SPECIAL ISSUE**



四倉パーキングエリア（常磐道）



途中休憩地、いわき市の四倉パーキングエリアに到着。常磐道沿いには、放射線モニタリングポストが多数設置、現在の放射線量を示すモニターがお手洗いに設置されていました。この先の放射線量による制限区域内を、南北に縦断する幹線道路は開通していますが、国道6号線では未だ2輪車の通行は認められていません。



常磐道沿道



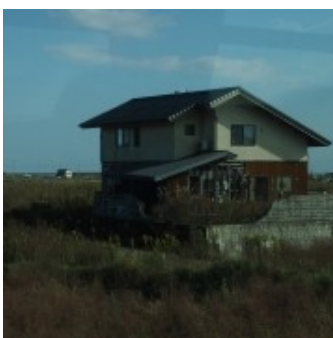
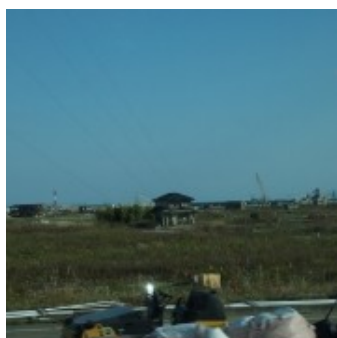
除染等で出た低レベル放射性物質を一時保管してる光景が、沿道にたくさん見られます。右写真は一瞬だけ見られた、福島第一原子力発電所の排気塔と思われます。



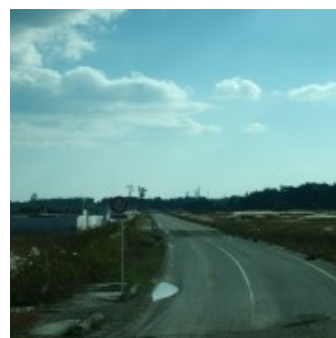
浪江町役場



津波被災地（請戸地区）



3.11の津波被害を大きく受けた、請戸漁港の周辺です。今は、雑草が高く生えた平原となっています。大平山に向かう道路の途中からは、とんりの双葉町・大熊町にまたがる、第一原発の排気塔が見えました。



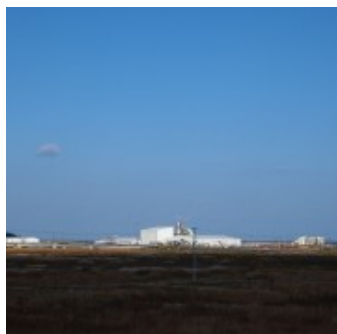


TRACES OF THE GREAT EAST JAPAN EARTHQUAKE

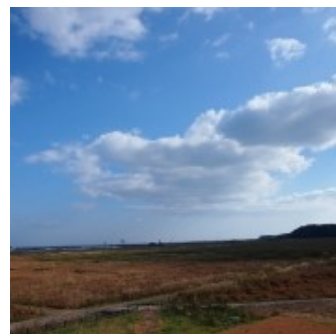
Tatsuru OIKAWA on facebook, November 2016 **SPECIAL ISSUE**



大平山



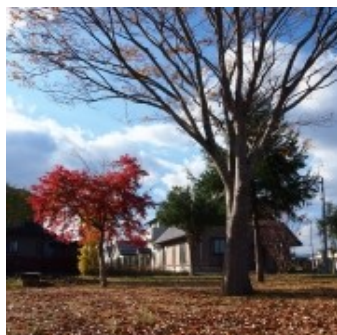
大平山からは太平洋が、そして津波被災地が一望できます。北側には、震災がれきの焼却を行う、仮施設があります。沿海部には今後、雇用創出に繋がる研究施設の誘致や、復興祈念公園などが整備される構想があるそうです。晴れた秋の日の、ここからの眺めは爽快そのものなのですが。



浪江町市街地



「避難指示解除準備区域」とされている浪江町の中心街です。所々に震災で半壊した建物が残りますが、町自体の造りに不自然さはありません。ただ、日中でもここには人が住んでいないゴースタウンなのです。車のほとんど走らない道路で下車し、徒歩で役場まで向かいます。



福島→東北→雪国？は誤解のようで11月の浜通りはとても気持ちのいい陽気でした。この公園だって遊ぶ子供の笑い声が響いてたっておかしくないのですが… 右は除染が終わって出たゴミを納めた袋です。この後、どうするのでしょうか。





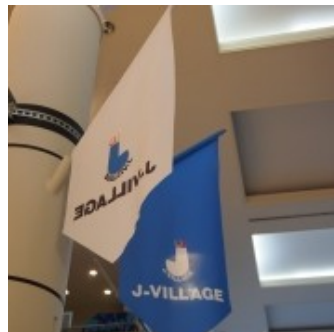
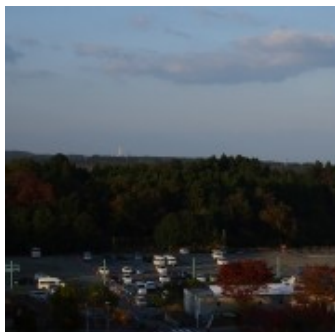
TRACES OF THE GREAT EAST JAPAN EARTHQUAKE

Tatsuru OIKAWA on facebook, November 2016 **SPECIAL ISSUE**



📍 Jヴィレッジ

1枚目写真、左の方に見える煙突は福島第二原子力発電所です。Jヴィレッジは元々サッカー振興のために作られた施設。電力会社がお金を出して作った、この施設があったから、第一原発の廃炉拠点が成り立っている...複雑な感じですね。Jヴィレッジは東京オリンピックまでに元々のサッカー施設に戻すそうです。



📍 いわき湯本温泉・ホテルハワイアンズ





TRACES OF THE GREAT EAST JAPAN EARTHQUAKE

Tatsuru OIKAWA on facebook, November 2016 **SPECIAL ISSUE**



2日目 →あかい菜園→アクアマリン福島→いわき・ら・ら・ミュウ→郡山駅

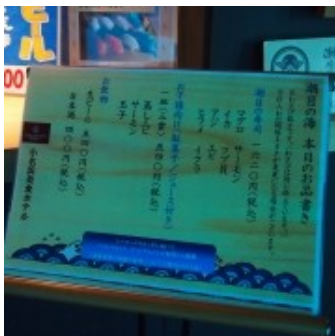


あかい菜園



アクアマリン福島

個人的にも再訪したいと思う水族館。ここも津波で大きな被害を受けました。暖流の黒潮と寒流の親潮がぶつかる、福島沖は恵まれた漁場だったそうです。展望台から眺める今日の太平洋は穏やかでした。水槽の前で握り寿司が食べられる水族館は世界でもここだけな気がします！ チンアナゴも出迎えてくれます。



いわき・ら・ら・ミュウ



小名浜の港は大にぎわい、と思いきや、全員スマホ片手のポケモン・GO目当ての人たちでした。なんでもレアモンスターが出没しているとか。ツアー最後の食事もおいしい海鮮丼でした。

